



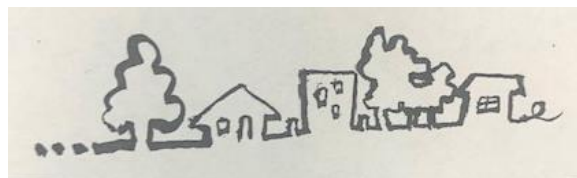
2021・11・20

illustrated by Kurumi

VOI-63

『「幸せ」ってなんだろうね』 いのはなはるこ

高3の4番目次男との会話は一日で二言三言です。
「お弁当今日いらないから。」「お風呂先に入って。」
「行ってきます」「ただいま」 それくらいのもんです。
昨晚、めずらしく、ソファで2人になりました。



「高校で「幸せ」についての作文を書きなさいっていうんだよね。」
「幸せはお金じゃ買えない、みたいなひな型があってそれに沿って書くんだけど。」
「幸せはお金で買えるし、幸せって単純なものじゃないでしょ？」
と話す、18才になった子の顔を久しぶりにゆっくり見た気がします。

「幸せになるにも、もう生まれた環境である程度決まるんじゃない？」
と、ドキッとすることを言ってきます。今でいう「親ガチャ」でしょうか。
生まれた環境や親の遺伝子で、ある程度子どもの将来は決定づけられている、
という考えです。親ガチャに当たったとか、ハズレたとか。
次男は親ガチャに当たっていると思っているのかハズレたと思っているのか？
訊きたいと思っても、すぐに自分の部屋に行ってしまいました。

それから「幸せ」ってなんだろう、わたしの作文だったら……。と考えていました。
「幸せ」という形はまぼろしなのだと思います。
「幸せ」という形があるわけではなく、「幸せ」という感情があるだけ。
「幸せ」だな、と気づくチカラを持っているか？持っていないか？なのでしょう。
お金や地位や名声や家族や友人という実在するものに対するの自分の感情。

私は次男に伝えたいことは……。
「ごめん。あなたが親ガチャにハズレた！と思っていようがいが、
ママは幸せなんだ。あなたを産めたこと、あなたのママになれたこと、一緒にいること、
ママは大当たりだと思っている。だから幸せだよ。」と。
話す時間はなくても、今一緒に居てくれてありがとう。
たくさんの周りにある幸せに気づけますように。

harukoinohana1717@gmail.com